



仲よく やりめく たくましい子

令和3年(2021年) 4月30日発行 文責 校長 土永 晶

朝に思う

朝、7:40から校門前横断歩道で立哨指導をしていると、だいたい同じ時間に同じ方にお出会いする。車でご出勤される方に会釈をすると、笑顔で微笑んでくださる方、前方を向きながらも会釈を返してくださる方など、心温まる瞬間である。また、高校生や中学生も元気にあいさつを返してくれる。当初は照れもあっただろうが、お互いに慣れてくると、「行ってらっしゃい」という言葉に「はい、行ってきます」と返ってくる。「行ってらっしゃい」は「行って帰ってらっしゃい」ということ。「行ってきます」は「行って帰ってきます」ということ。『今日も行って、活動をして、無事に帰ってきてね』という思いを込めて、毎日、声をかけていきたい。しばらくすると、小学生のみなさんが、元気なあいさつとともに登校してくる。あいさつは、人と人とのキャッチボール。あなたのことを認めてますよという思いがある。たとえ大きな声でなくても、心の中で「おはようございます」と言えたら、必ず相手には伝わる。毎朝、いろんなあいさつの仕方でも、とても気持ちのよい朝を過ごしている。

<交通安全教室>

4月21日に、交通安全教室を開催しました。DVDの視聴のあと、本校の中村達也先生から横断歩道で注意することのお話があり、スクールガードリーダーの森田一男さんから、学年に応じた交通マナーについて、ご指導いただきました。また、犯罪被害防止のため、「いか」「の」「お」「す」「し」のお話がありました。子どもたちの真剣にお話を聞く態度にとっても感心しました。ご家庭でも話題にしてください。

<ゴールデンウィークに向けて>

明日から5連休となります。コロナ禍のなかで何かと制約のある日々を過ごすこととなりますが、是非ともお時間が許す限り、子どもとしっかり話をする機会にしていいただければと思います。どうか、よろしく願います。

第1回学校運営協議会より

第1回学校運営協議会を4月27日に開催しました。今年度の委員さんを紹介するとともに、裏面に承認を得た今年度の重点目標と具体的方策を載せます。

会 長：
副会長：
委 員：

地域学校協働活動推進員

5月の主な行事予定

- 6日(木)ミニ集会
- 7日(金)内科健診(3,6年生)
- 10日(月)委員会活動
- 13日(木)尿検査2次 歯科健診(全)
1年生を迎える会
- 14日(金)避難訓練
- 17日(月)新体カテスト(上学年) クラブ活動
- 18日(火)新体カテスト(下学年)
眼科健診
- 20日(木)放射線出前授業(6年生)
- 21日(金)内科健診(4,5年生)
PTA三役・正副委員長・代議員会
- 24日(月)ごみゼロの日(全校)
- 26日(水)内科健診(1,2年生)
- 27日(木)全国学力・学習状況調査(6年生)
プール清掃(6年生)
- 28日(金)南部いちご会
- 31日(月)委員会活動

*新年度スタートから1か月が過ぎ、子どもたちの素直で元気に活動する姿を見て、たいへん嬉しく思っております。今後も、ご協力の程お願いします。

*今年度のフローティングスクール(5年生)は、7月12日(月)の1日での開催となります。ご理解の程、よろしく願います。詳細日程は該当学年に、後日ご連絡させていただきます。

本年度の重点目標	具体的方策
<p>1. 学力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「我が校の学ぶ方向上策」の点検、見直しにより学力向上を図る。 ・保護者と学校が連携し、家庭学習の習慣化を図る。 ・基礎基本の徹底を図るため、算数等における少人数学習を充実させる。 ・ICTの積極的な活用。 (一人一台のiPadの積極的な活用) 	<ul style="list-style-type: none"> ○「我が校の学ぶ方向上策」に評価、改善を加え、実効性のあるものにする。 ○家庭学習を習慣付けるため、「『家庭一家訓』」の取組を保護者と連携し、振り返りを確実に行う。 (『家庭一家訓』の啓発、振り返り) ○日常の授業において、導入の工夫、めあて、振り返りの確認を意識する等、わかる授業の実践。
<p>2. 言語活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科における言語活動を基盤として、さらに枠を広げて各教科においてその特性を生かしながら言語活動の充実を図り、思考力・判断力・表現力を育む。 ・読書指導を充実させ、読書の楽しさを実感させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研究のテーマ「子どもたちが思考力を高めながら、主体的・対話的に学ぶ授業の創造」の確実な実践。 ○言語活動を充実させるための書く活動を多く取り入れた授業改善に取り組む。 ○図書の見聞等を通じてより本に興味をもたす。 ○「先生はわからない時に丁寧に教えてくれる。」 (児童評価90%以上)
<p>3. 小中一貫教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫カリキュラムを活用し、めざす15歳の姿を共有し、現段階での教育活動を追及する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習活動が、上学年や中学校でのどの学習につながるかを意識した授業づくりに取り組む。
<p>4. 健康の保持増進と体力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子ども体力向上プラン」に基づく取組を実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体育科の学習を核とした運動遊びを促進する。
<p>5. 集団づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の定着を図る。 ・はじめのある生活を送ることのできる集団を育成する。 ・周りの子どもたちや大人に対して思いやりの気持ちをもって接することのできる集団を育成する。 ・異学年交流を通して望ましい人間関係の育成とリーダーを育てる。(縦割り活動、集団登下校) 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導に関する情報交換や、月例(臨時)校内ケース会議を持ち、適切かつ早期に対応する。 ○「縦割り活動や全校的な行事では、自分から進んで活動している。」(児童評価90%以上) ○「進んであいさつや返事をしている。」 (児童評価90%以上) ○異学年との交流等を通して社会性を身につける。
<p>6. “藤樹”学習を中心とした地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中江藤樹の教えを学ぶ機会や、地域の「人・もの・こと」から体験的に学ぶ機会を積極的に設ける。 ・「藤樹デー」は、全校児童が楽しみ学べるように、高学年が中心になって企画する場面を設ける。 ・ACや地域学校協働本部と確実に連携する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「掃除を頑張っている」(児童評価90%以上) ○「学校では藤樹先生に関する学習をしている。」 (児童評価90%以上) ○「藤樹デー」「大洲小学校との電話交歓会」等の本校ならではの取組の継続。
<p>7. 教職員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの力を引き伸ばす教職員の実践力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもにトコトン関わる(学習・運動・遊び等) ○積極的な研修への参加とOJTの推進

◆◆◆◆◆教職員の姿勢◆◆◆◆◆

1. 10年先を生きる子どもたちの姿を見通し、思考力・判断力・表現力を育む。
2. はじめのある生活を送り、社会性を身につけた児童を育てる。
3. 子どもにはトコトン関わり、保護者の相談や悩みには親身になって話を聴く。
4. 時代の変化やキャリアステージに応じて高い課題意識をもって意欲的に学び続ける。